



平成 23 年 4 月 14 日

各 位

福岡県福岡市中央区薬院一丁目1番1号
メディアファイブ株式会社
代表取締役社長 上野 英理也
(コード番号: 3824 Q-Board)
問合せ先: 常務取締役管理本部長 吉行 亮二
(電話番号: 092-762-0555)
<http://www.media5.co.jp/>

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社で保有する投資有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復が困難であると認められたものについて、平成 23 年 5 月期第 3 四半期末において減損処理による投資有価証券評価損を特別損失として計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 7 月 12 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 5 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額

(A)平成 23 年 5 月期第 3 四半期末の投資有価証券評価損の総額	6 百万円
(B)平成 22 年 5 月期の純資産の額 (A/B×100)	352 百万円 (1.7%)
(C)最近 5 事業年度の経常利益の平均額 (A/C×100)	28 百万円 (21.5%)
(D)最近 5 事業年度の当期純利益の平均額 (A/D×100)	13 百万円 (44.3%)

2. 平成 23 年 5 月期通期個別業績予想値の修正 (平成 22 年 6 月 1 日～平成 23 年 5 月 31 日)

(金額の単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	860	△34	△24	△30	△7,078.81
今回発表予想 (B)	760	△73	△49	△63	△14,865.50
増減額 (B - A)	△100	△39	△25	△33	
増減率 (%)	△11.6%	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 5 月期)	830	△14	20	8	2,112.15

3. 業績予想修正の理由

IT 投資に慎重な姿勢が見られる中、開発案件に対する企業間の競争も激化し、高度な技術者を

求める傾向が強くなっており、依然として厳しい状況が続いております。このような環境の中、当社の主力であるSES事業において、平成23年5月期第2四半期の後半以降、取引先からのITエンジニアの需要は増加傾向にあったものの、長引く景気後退の影響で、仕事を紹介できなかった契約社員・派遣社員の数が減っていたため、稼働するITエンジニアが不足し、大幅な稼働者数の増加にはつながりませんでした。その結果、売上高は、当初の予想を下回る見込みとなりました。

加えて、このようなSES事業への依存体質から脱却するために、SI事業の業容拡大及びオフィス巡回型エンジニアリングサービスのBakoon!!サービスに対して営業担当者の増員・Bakoon!!サービスエンジニアの教育・確保等の先行投資を行ったことが要因となり、販売費及び一般管理費が増加し、営業利益、経常利益ともに当初予想を下回る見込みとなりました。

また、先述したように、投資有価証券評価損の計上を行ったことで、当期純利益も当初予想を下回る見込みです。

今後は、優秀なITエンジニアの育成という原点に立ち戻り、ITエンジニアを増加させることで、SES事業の業容拡大を図っていくとともに、平成23年5月期に投資したSI事業及びBakoon!!サービスからの受注を拡大させ、下請けとして業務を行う事業形態からの一部脱却を進めてまいります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上